

2016年 韓国サンハ農園インターンシップ

① サンハ農園の概要

会社名 メール乳業株式会社

Maeil Dairies Co., Ltd

本社住所 The-K Twin Tower A、Jong-ro 1-gil、Jongno-gu、Seoul

設立 1969年2月

資本金 67億ウォン

従業員 約2,100名（2016年3月現在）

事業内容 粉ミルク、牛乳、離乳食、飲料、チーズを中心とした乳製品製造販売

会社名 サンハ農園有限会社

Sangha Farm Co., Ltd

事業所住所 11-23 Sanghanongwon-gil、Sangha-myeon、Gochang-gun、Jeollabuk-do

設立 2011年6月

資本金 1億ウォン

従業員 約50名（2016年3月現在）

事業内容 酪農・有機農業を中心とした集客観光施設の運営

- ① 農産物の生産（酪農、米、野菜、果樹など）
- ② 食品加工品の製造（パン、ウインナー、ジャム、チーズ、味噌など）
- ③ 観光農園の運営（レストラン、販売施設、加工体験施設、牧場など）

企業PR

メール乳業は乳製品中心の製造販売を行う大手食品会社です。1969年韓国酪農加工(株)という社名で設立し、1980年に今の社名に変更しました。主なビジネスは粉ミルク、離乳食、牛乳、加工乳、チーズなどの乳製品と果樹飲料などを生産販売しています。

その関連会社として設立したサンハ農園は、安心安全な有機農産物の生産と、体験を通じた消費者との交流を図る農業公園として、2016年4月にオープン予定の施設です。

韓国の農業や地方をとりまく社会状況は日本と似通っており、こうした社会問題に対して、地方から新たな魅力を発信し、韓国の地域活性化や農業の活性化に寄与することを目的とした本格的な施設となることを目指しています。

各分野のスタッフが協力して、韓国の子供たちを中心に、人と自然、動物がふれあう場を提供し、韓国の農業や食を見つめなおす場としていきます。

②期間 2016年8月中旬～9月中旬の2週間（ビザなし渡航は90日以内となります）

③受け入れ人数 2名

④受け入れ部門 接客を中心に、運営状況や希望を考慮の上、適切な部門に配置します。

【テーマ】

1. 韓国社会の理解

- ・韓国で暮らす消費者と直接接することにより、韓国社会の現状を体感し、日韓交流や日韓ビジネスの可能性について学ぶ。

2. 農業の6次産業化モデルを体験

- ・日本では農業活性化の旗印とされる「農業の6次産業化」に韓国で初めて本格的に実施する施設となり、農業生産、食品加工、販売、飲食、体験、交流イベントなど様々な業態や職種を体験する。

⑤受け入れ条件

■外国語能力など

日常会話レベルの韓国語を話せることが望ましい。スタッフの中には日本語の話せる者も何人かおりますが、不特定多数の人たちを相手にする集客施設であり、語学力のみならず、コミュニケーション能力の高い学生を希望します。

■滞在環境

(1) 宿泊

農園に近接する宿泊施設を提供します。状況によっては相部屋になる可能性もあります。

(2) 食事

スタッフ用の食堂や施設内の飲食施設などで提供します。

(3) 周辺環境

郊外にあり、徒歩圏内に商店や観光名所などはありません。休日等を使って近隣都市への観光など出来る限りのおもてなしはさせていただきます。

■アクセス及び送迎

ソウルから南に約 300km 程度に位置します。

アクセスルートとしては、

- ① 仁川空港または金浦空港→光州空港（約 1 時間）
- ② 仁川空港または金浦空港→ソウル駅→龍山駅→井邑駅（KTX）（約 4 時間）

「光州空港」あるいは「井邑駅」から「サンハ農園」までは約 60 分となり、交通手段によって、到着日と帰国日については、どちらかの駅または空港までの送迎をさせていただきます。

■費用

施設内での宿泊や飲食については当方で負担しますが、渡航や業務時間外での移動や食事等に関わる費用については、自己負担でお願いします。